

研修所の一年

祭り・行事・生活など

佐渡島内は民俗芸能の宝庫。生きた芸能・祭りの姿から様々な事を学びます。



ランニングは毎朝10km。季節ごとにロードレースや駅伝などの公式大会に参加します。

ワークショップスタッフ実習
「太鼓体験塾」など一般対象に行われるワークショップにスタッフとして参加します。

鉦山祭り、アース・セレブレーション
など、佐渡島内公演での実地研修

舞台設営などの準備段階から当日の警備、ワークショップ手伝いなどイベントの現場を実際に体験します。

柿野浦の祭り、小木祭り、岩首の祭りなど
島内の祭りに本格的に参加します。



鼓童塾
研修生もスタッフとしてサポートします。塾生さんからもたくさんのお話を学びます。

中学校交流公演
佐渡島内の中学校などで実際に公演します。



稽古

1、2年生それぞれに稽古をします。内容によっては合同稽古をする場合もあります。

太鼓

まずは締め太鼓の締め上げ（チューニング）の仕方に始めて、桶太鼓、締め太鼓、大太鼓などの基本的な打法を段階を追って学びます。曲としては「屋台囃子」「三宅」「大太鼓」「八丈」など様々な太鼓を稽古します。



踊り

「剣舞」「さんさ」「小木おけさ」「鬼太鼓」「西馬音内盆踊り」など様々な踊りの稽古をします。

2年生になってからは、これらのほかに、琉球舞踊なども加わります。



唄

月に1回程度。発声、音程、リズムなどの基本から始まり、唄う楽しさを探してゆきます。作曲や合唱にも取り組みます。

笛 月に1回程度

能・狂言

月に2回程度。謡や舞の基本を稽古します。



茶道

半日ずつ月に2回。1年で千歳盆手前、2年間で薄茶点前（炉）拝見まで。

講義

講師の先生方にして頂くのは佐渡の歴史や自然のお話。実地も含めて年間4回程度の講義です。その他鼓童のスタッフや地元の方にお話を聞くこともあります。

造形

造形はまず自分で使う箸作りからスタート。パチ作り、陶芸など月に1・2回、色々なものを作ります。



研修所の日

季節によって一日のスケジュールは変わります。
夏時間と冬時間があり、これは夏時間の場合です。

04:50 起床、体操、掃除、ランニング

06:50 朝食

07:30 ストレッチ

締め上げ、個人稽古

09:30~11:30 午前の稽古

稽古の時間は太鼓や踊り、唄などの他に、農作業や造形、講義の時間も。年間およそ2/3が太鼓や踊りなどの時間、残りの1/3がそれ以外の時間に充てられます。

12:30 昼食

食事と休憩の時間です。個人稽古をしたり、体調に合わせて昼寝をしたりと午後の稽古に備えます。

14:00~17:00 午後の稽古

稽古は基本的に研修所で行われますが、内容によっては鼓童村でも稽古をします。季節やお天気によっては野外でも稽古をします。

18:30 夕食

19:30~ 各自の時間 ~就寝

2005年度 講師の先生方(敬称略)

- 本間雅彦 [講義] 元・畑野町史編集委員長
- 佐藤利夫 [講義] 佐渡研究者
- 福島徹夫 [講義] 元・新潟県栽培漁業センター所長
- 桃井宗生 [茶道] 裏千家学校茶道教授
- 松永政雄 [能] 宝生流教授囃託・幸清流小鼓準職分
- 小笠原匡 [狂言] 和泉流野村万蔵家狂言師
- 金城光枝 [琉球舞踊] 琉球舞踊家、太圭流華の会教師
- 岩手県盛岡市・黒川さんさ踊り保存会 [黒川さんさ踊り]
- 岡田京子 [歌] 作曲家
- 伊藤多喜雄 [唄] 民謡歌手
- 赤塚五行 [俳句] 新潟日報佐渡版俳句選者
- 熊田勝博 [講義] 照明家
- 西須政稔 [豆腐作り] 指物師
- 西須殉治 [木工] 指物師
- 広井栄美子 [西馬音内盆踊り北の盆]
- 岩崎ちひろ [魚のさばき方] 魚屋
- 葛原正巳 [陶芸]

鼓童メンバー

- 内容 / 太鼓、踊り、唄、笛、ランニング、農作業、造形、講義、生活全般など
- 講師 / 大井良明、藤本吉利、小島千絵子、藤本容子、山口幹文、齊藤栄一、金子竜太郎、見留知弘、青木孝夫、菅野敦司、赤嶺隆、山口康子、千田倫子、石原泰彦、後藤美奈子

農作業 田んぼ・畑・柿

農作業は日々の稽古の合間をぬって、お天気と相談しながらしています。田んぼ・畑は研修所の近くに、柿は羽茂本郷の弘仁寺で畑をお借りしています。

春

冬の間休ませておいた田畑の土を耕すところから春の農作業が始まります。畦作り・代かき・田植え、春野菜の植え付けなど、とても忙しい時期です。



夏

研修所の農業では除草剤などの農薬を使わないため、夏の農作業ではとにかく除草作業が続きます。手押し除草機などを使いながら全て手作業で行います。

秋

苦労して育て上げた作物を収穫します。春以上に忙しい時期です。米・柿・芋など沢山の収穫物で研修所の食卓が一番賑わう嬉しい季節です。



冬

次の一年に向けて肥料づくりや道具の手入れなどをします。堆肥は稲藁や落ち葉、畜糞などを使って作る有機肥料です。脱穀したもみ殻も燻炭にして田畑の土に無駄なく使います。